

7. 縦隔腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
								治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 呼吸器内科	13	7	状況	×	○	部長、副部長をはじめ9名のスタッフおよび若手名の専攻医で、多様な呼吸器疾患の診療にあたっています。全スタッフが呼吸器疾患全般の診療に携わるとともに、個々のスタッフがそれぞれ専門とする領域を有し、各々の領域の診療レベルの向上に日々努めています。	ア	呼吸器内科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	あり		なし	イ	http://		
2 呼吸器外科	4	4	状況	○	○	20年以上の経験をもって、胸腔鏡補助下の手術(VATS)にも精通し、肺がん、気胸、転移性肺腫瘍や肺良性腫瘍、縦隔腫瘍、肺生検などに広く応用しています。	ア	呼吸器外科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり		なし	イ	http://		
3 放射線治療科	2	2	状況	×	×	化学療法は単独で癌を根治することが難しく、補助療法として用いられるためこのような呼び方がされます。当科では肺癌の定位照射やIMRT(強度変調放射線療法)などの高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。	ア	放射線治療科	掲載なし	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし		あり	イ	http://		
4			状況				ア	http://			
			実績					イ	http://		
5			状況				ア	http://			
			実績					イ	http://		

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 胸腺腫
 縦隔腫瘍、縦隔リンパ節転移